

研究課題

新型コロナウイルス感染症の流行度に応じた面会と褥婦のメンタルヘルスの考察

実施期間

許可日～2023年4月30日

対象者

2022年7月1日～2022年12月31日に当院で分娩をされた褥婦様

研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 看護局

目的

新型コロナウイルス感染症は2020年に第1波となる流行から現在、第8波までの流行を経ていきます。大阪府は高流行地域として対策を余儀なくされ、当院においても入院中の家族の方の面会を中止せざるを得ない状況で、分娩の方も同様でした。一方で、感染者数が減少した時期には制約のある状況ではありますが、夫や実母の立ちあい分娩および入院中に1回の面会を可能とする対応をとりました。

今回、当院で分娩された褥婦様において新型コロナウイルス感染症の流行度に応じた家族の面会とメンタルヘルスへの影響について考察します。

方法

この研究は、上記期間に当院で分娩された褥婦様の人数、既往歴、分娩歴、面会の有無、里帰り分娩の有無、産後2週間健診と1か月健診におけるエジンバラ産後うつ病質問票(Edinburgh Postnatal Depression Scale: 以下 EPDS)と赤ちゃんへの気持ち質問票の点数を抽出し、整理します。その後、ご家族の面会の有無別に比較・分析を行います。

意義

周産期におけるメンタルヘルスケアの質の向上につながります。

個人情報の保護

本研究で得られた結果は、貴重な資料として学会に公表されることがあります。その場合褥婦様の個人情報は、外部から特定できないように厳重に管理されます。この研究についてさらに詳しい内容を知りたい場合、他の褥婦様の個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画、方法及び結果についての資料を見ることができます。この研究に参加するかどうかは対象となる妊婦様の自由で研究の参加を断っても不利益を受けることは一切ありません。参加を拒否される場合は下記までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 5西病棟

研究責任者：助産師 藤澤悦子 森重圭子

医師 水田知紘

電話番号：06-6387-3311 内線 (2513)